

# 第1回 先史時代

## 1 人類の登場

・人類が歴史を記録に残すようになったのは、実はつい最近のことである。  
→記録に残っていない時代を、( )と呼んでいる。

☆ ( )

- ・人類と類人猿の一番の違いは、人類が( )をし、( )を製作・使用することである。
- ・最初の人類は、約700万年前にアフリカで誕生し、サヘラントロプス、ラミダス猿人、( )、などが知られる。  
→原始的な( )である( )を使用した。

☆ ( )

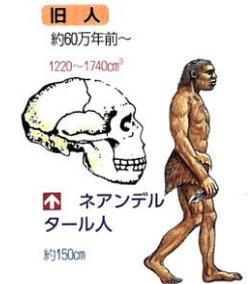
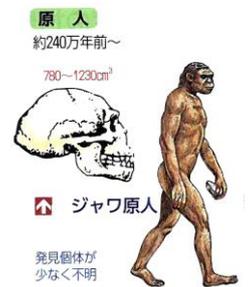
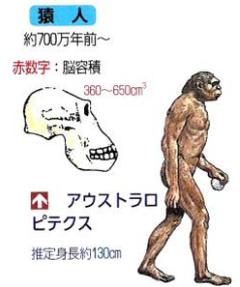
- ・約240万年前に現れ、洞窟に住み、( )や( )を使用した。 ※( )も使用したとの説がある。
- ・アフリカで発見された( )やホモ=エレクトゥス、中国の周口店で発見された( )、インドネシアのトリニールで発見された( )が有名である。

☆ ( )

- ・約60万年前に現れ、毛皮を着用して( )を使用した。
- ・( )があったとされ、宗教的行為の始まりと考えられる。
- ・ドイツの( )が有名である。

☆ ( ) (現生人類)

- ・後期旧石器時代の約20万年前にアフリカに現れて、この新人こそが現代に生きる人間の直接の祖先となった。
- ・ヨーロッパの( )やグリマルディ人、中国の( )などが有名である。
- ・新人は、動物の骨や角を加工した( )を使用した。
- ・また( )を作ったほか、フランスの( )やスペインの( )の洞窟に、動物や狩猟の絵を残した。  
※これらの美術を( )という。



骨角器

動物の骨や角は、石よりも温度に強く、釣り針などに細かく加工することができた。網などもこの時代の発明である。



女性裸像

石のヴィーナス像は、各地で発見されている。豊穡や繁栄を祈るものであり、宗教というものが誕生したことをはっきりと示している。



ラスコー

牛、鹿、馬、ヤギなどが描かれている。現在の我々から見ても非常に躍動感がある。日常的にこれらの動物と接していたからであろう。

## 2 農耕・牧畜の始まり

- ・人類が、打製石器や骨角器をもちいて狩猟・採集の生活を行っていた時代を、( )と呼んでいる。
- ・約1万年前、( )が終わり、陸地や気候は現在と同じ状態となった。氷期に挟まれた暖かい時期を間氷期といい、現在もそれに含まれている。  
※地質年代では( )から( )に入った。

### ☆中石器時代

- ・打製石器でも、より細かい細石器や弓矢を使用した。



細石器

氷河期が終わるとマンモスなどの大型動物がいなくなり、狩猟の道具も細かくなっていった。

### ☆( )

- ・約9000年前、西アジアで( )の栽培が始まり、牛、羊など家畜の飼育もはじまった。  
→人類の生活は、狩猟や採集を中心とする( )から、農耕や牧畜を中心とする( )へ劇的に変化した(食料生産革命)。

- ・石をくだいた打製石器ではなく、石を磨いてつくった( )さらに( )、( )、( )、織物がもちいられるようになった。

→それ以後の時代を、新石器時代という。



ジャルモ

現在のイラクにあり、世界最古の農耕遺跡である。おそらく200人くらいの集落であり、鎌や石臼なども発見されている。ヨルダンのイエリコも有名。



磨製石器

石器を他の石でさらに磨いて製作された。木を切るため、肉を切るため、作物を収穫するためなど、様々なものが製作された。



彩文土器

農耕が始まると、人類の生活は大きく変化した。土器はこの生活スタイルの劇的な変化にあわせて発明された。特に西アジアの彩文土器が有名である。

## 3 文明の誕生

- ・最初の農業は、乾地農法と略奪農法であり、効率は悪かった。  
→しかしその後、農業に必要な水を人工的に確保する( )が始まると、食糧生産は増大し人口も急激に増えていった。

- ・農業の開始により、人々はひとつの場所に定住し、集落をつくっていった。  
→そこから( )が誕生した。
- ・また多くの人々が灌漑などの共同作業に関わるようになると、そこに階級が生まれ、( )が成立した(都市国家の成立)。  
→そして政治や交易を記録するために、( )が誕生していった。  
※このような階級・国家・文字を持つ高度な社会を( )という。  
→文字が発生し、記録に残るようになった時代を( )と呼んでいる。
- ・各地の文明では、前4000年ころから( )の普及も始まった。